

武蔵台公園保全活動作業記録

1 日時 令和2年8月24日(月) 午前8時30分～11時

2 参加者

- (1) 東京農工大学大学院准教授 吉川正人氏
- (2) 武蔵台緑地保全ボランティア2名
- (3) 自然環境調査員会議委員7名
- (4) 府中市環境政策課自然保護係

3 作業場所 B2エリアの一部



作業前の状態

当該エリアは、緑地内でも日照が下層まで届きやすい明るい状況になっていた。そのため、ツル植物が繁茂し、アズマネザサも腰丈以上に育ったものが多く見られた。また、トウネズミモチを中心とした常緑樹やムサシアブミといった移入種も多く見られたため、これらの適度な除去を図り、落葉樹の更新木や指標植物の増加を目的とした作業を実施することとした。

4 活動内容

- 吉川准教授の解説のもと各エリアの状況を視察
- B2エリアの一部にて保全活動を実施
 - ① ひざ丈以上のササの除去
 - ② ツル植物、外来種を中心とした常緑樹や移入植物（トウネズミモチ・ムサシアブミなど）の除去

5 その他記録など

- カシノナガキクイムシによるコナラの枯死が進んでいる。相当な数のコナラに被害が出ており、台風による倒木や人への被害、周囲の樹木への影響を考慮すると被害木の早期伐採が必要である。
- 作業にあたっては山田委員から刈込バサミを借用した。また刈った植物は90リットルのビニール袋に入れ、公園緑地課の現業ヤードは運び入れ処分とした。

6 活動風景

